

育ち合いの実践

人づくりの4つの観点

人権尊重、人間尊重の実践的態度を育てるため、道徳や体験活動などあらゆる機会を通して心を磨く場面を創造していく。

- ①人やもの、自然を大切にする人
- ②相互の違いを認め、ともに協力、協調して生きていく人
- ③身の回りの差別に気づき、差別を許さない人
- ④自分の思いや考えをはっきりともち、ルールやマナーを守る人



集団づくりの4つの観点

互いに認め合い、高め合う恣意的集団の形成をめざし、学級活動、学年活動、生徒会活動等を通して、集団モラルを高め、自治的能力を伸ばす場面を創造していく。

- ①学級目標など共通の願いを持った集団
- ②人を大切にし、自治を生かし、自ら主体的に活動ができる集団
- ③リーダーが活かされる集団
- ④コミュニケーションを大切にする集団
- ⑤集団効力感、自尊心を育む集団

学校教育目標

「きびしく やさしく
たくましく生きる生徒の育成」

【めざす学校像】

「切磋琢磨し躍動する学校」

【めざす生徒像】

- 自ら学び、厳しく鍛える生徒(自主・自律)
- 人のことを考え、思いやりのある生徒(人間性)
- 協力して社会に貢献できる生徒(社会性)

【教師と生徒の実践目標】

「授業」「部活」「生徒会活動」

授業づくりの4つの観点

学習規範を確立し、基礎学力の定着を図るとともに、読解力や書く力をのばし、一人ひとりの生徒が生き生きと授業に参加し、わかる喜びや充実感のある「わかる授業」を創造していく。

- ①学習規範、とくに「聞くこと」を大事にした授業
- ②基礎学力の定着を図る授業
- ③「話す」「活動する」「書く」「表現する」を活用した授業
- ④学校ICTを活用した授業
- ⑤多様な学びのある授業(協同的な学習の推進)

日吉 コミュニティ・ スクール -「日吉はひとつ」をめざして-



義務教育では、「読む」「書く」「計算する」といった基礎学力定着が大切であり、本校においてはその定着が課題となっている。進路指導の面からも基礎学力の定着が大きな課題である。特に平成25年度の学力学習状況調査の分析結果から「書く力」が弱いことが明らかになった。「書く力」向上にむけた取り組みを推進する。

書く力の向上のための手立て

- 【授業の中で】「書くこと」を意識した授業構成
- 【テストの中で】「書くこと」を意識した問題の出題
- 【行事を通して】感想や反省等の作文指導
- 【日々の生活の中で】日記指導＝表現の時間



学力補充学習

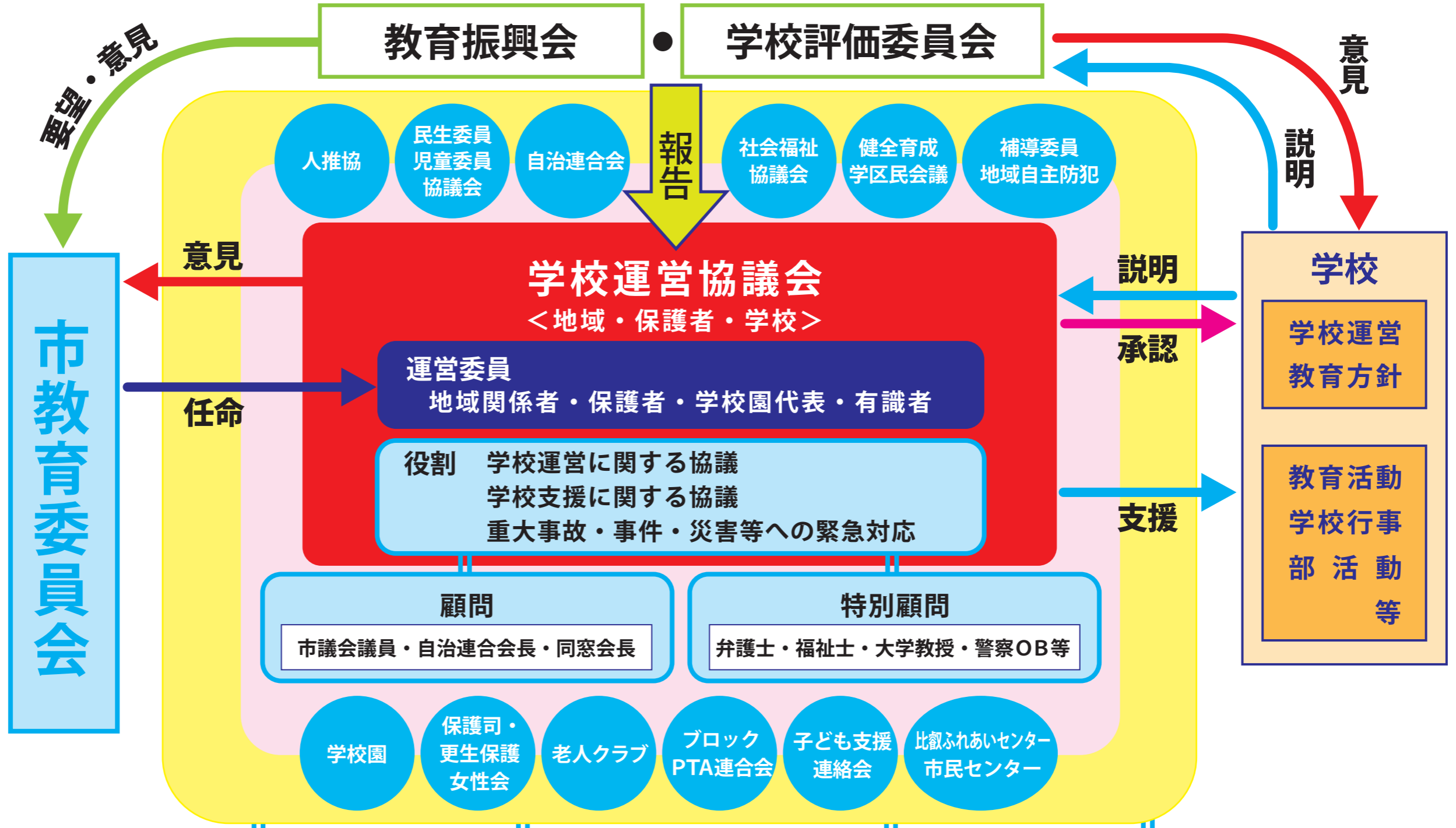
授業だけでは基礎学力の定着が図れない生徒に対して、個々の状況に応じきめ細かく補習することは、基礎学習の定着を図るとともに、人間関係を築くチャンスとなる。また、そのことにより授業への姿勢が前向きになることを期待するものである。

- ①テスト前の補充学習
- ②長期休暇中のマンツーマン学習(里親学習)
- ③年間を通して実施している昼、放課後の各補充教室(ドリカム・ミラクル・マジカル)
- ④7時間目スペシャル補充教室(放課後)
- ⑤中学入学前計算ワーク「ホップ・ステップ・ジャンプ」



切磋琢磨し 躍動する学校 日吉中学校

日吉コミュニティ・スクール



- | 教師をつなぐ | 子どもをつなぐ | 保護者をつなぐ | 地域をつなぐ |
|---|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○日吉教育総合推進会議 <ul style="list-style-type: none"> ●新転任者研修 ●8月 夏季研修 ●10月 授業交流集会 ●2月 合同研修 ○日吉ブロック特別支援教育コーディネーター会議 ○幼小中連絡会 | <ul style="list-style-type: none"> ○日吉子どもサミット (H2.8.1 発足) <ul style="list-style-type: none"> ●年間3回会議 ●アルミ缶回収運動 ●地域との合同研修会 ●地域ボランティア活動 ●びわ湖を守り育てる運動 フナ放流・シジミ放流 ○日吉ブロック将棋・カルタ大会 | <ul style="list-style-type: none"> ○日吉ブロックPTA連合会 ○日吉ブロックPTA教育研修会「春の集会」 ○日吉ブロックPTAバレーボール大会 ○日吉ブロック合同研修 ○日吉ブロック合同保健委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ○夏の集会 ○秋の集会 ○地域連絡協議会 ○日吉ブロック生徒指導協力者会議 ○人権を考える大津市民のつどい「夏の集会」・「秋の集会」 ○補導幹事会・合同パトロール |

つながり合いの実践

